

# 中小企業景況調査報告書

令和8年 1～3月期 実績

令和8年 4～6月期 見通し






## 始良市商工会

(令和8年4月発行)

この調査は、始良市の産業状況等地域の経済動向について、四半期毎に変化の実態等諸状況を収集して実施しているものです。

























この報告書の中で、用いられているD・I指数とは、ディフュージョン・インデックスの略で、【増加・上昇・好転】の割合から【減少・低下・悪化】の割合を差し引いた値で企業経営者の景気動向を表す指数として利用されています。

### 〈お天気マークの説明〉

 特に好調 +30.0 以上	 好調 +29.9～ +10.0	 まあまあ +9.9～ ▲9.9	 不振 ▲10.0～ ▲29.9	 極めて不振 ▲30.0 以上
-------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------

- 調査対象期間 令和8年1～3月期を対象とし、調査時点は令和8年3月1日とした。  
令和8年4～6月期は予測値となる。
- 調査方法 商工会の経営指導員による訪問及び面接調査による。
- 調査対象商工会 始良市商工会
- 回答企業 対象企業 30企業 (※始良市30企業を基に指数を表示しており、あくまでも参考指数と理解下さい。)  
製造業：7企業 建設業：7企業 小売業：8企業 サービス業：8企業

### 県内産業別業況 DI

		製造業		建設業		小売業		サービス業	
対前年 同月比	7年 1月～3月期		▲18.6		10.4		▲13.8		▲26.0
	7年 4月～6月期		▲12.5		16.6		▲23.3		▲22.4
	7年 7月～9月期		▲31.7		20.0		▲37.7		▲15.8
	7年 10月～12月期		▲21.9		10.0		▲39.3		▲21.6
	8年 1月～3月期		▲14.7		16.6		▲40.0		▲11.8
	来期見通し(4～6月期)		▲12.2		▲6.7		▲36.7		▲17.3

### 総合(業況)

前年同期(令和7年1月～3月期)と比較した今期(令和8年1月～3月期)の業況は、製造業▲14.7(前年同期比 3.9ポイント悪化)、建設業 16.6(前年同期比 6.2ポイント改善)、小売業▲40.0(前年同期比 26.2ポイント悪化)、サービス業▲11.8(前年同期比 14.2ポイント改善)となった。

また前期(令和7年10月～12月期)と比較すると、製造業 7.2ポイント改善、建設業 6.6ポイント改善、小売業 0.7ポイント悪化、サービス業 9.8ポイント改善となった。今期については、ガソリン暫定税率廃止によるガソリン単価の下落が物流コスト減に繋がり、物価の下落に期待したが、物価は上昇したまま。しかし前期と比較すると売上額では改善・横ばいの状態である。

なお、来期（令和 8 年 4 月～6 月期）の見通し（D I）は、今期と比較すると、製造業 2.5 ポイント、小売業 3.3 ポイント改善の見通しとなるものの、建設業 23.3 ポイント、サービス業 5.5 ポイント悪化の見通しである。中東情勢悪化によりエネルギー安全保障の観点から大きな影響も懸念され、4 月からの値上げラッシュに加え、さらなる原材料価格の上昇に拍車がかかると思われ、中小企業・小規模事業者においても益々経営状況の厳しい状況が長引くと思われる。

## 業種別景気動向

### 【製造業】 有効回答数 7 企業

調査対象企業内訳：食料品(2)、窯業(1)、衣類(1)、家具(1)、印刷(1)、ガラス製品(1)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
7年 1月～ 3月期		0.0		14.3		0.0		0.0
7年 4月～ 6月期		0.0		14.3		0.0		0.0
7年 7月～ 9月期		▲14.3		0.0		0.0		0.0
7年 10月～ 12月期		0.0		0.0		▲14.3		▲28.6
8年 1月～ 3月期		14.3		▲14.3		▲14.3		0.0
来期見通し(4～ 6月期)		0.0		▲14.3		▲14.3		0.0

#### <調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・ 県内企業は回復にはもう少し時間がかかりそうだが、県外の企業は回復の兆しを見せている。
- ・ 賃金を上げるより税負担の軽減の方が購欲も流通もよくなるのではないかと思う。

#### <経営上の問題点>

- ・ 物価高騰による原材料だけでなく金利の面でも負担が増加しており、資金繰りに苦慮。
- ・ 値上げによる消費者の購入意欲の低下及び買い控え。

### 【建設業】 有効回答数 7 企業

調査対象企業内訳：総合工事業(2)、設備工事業(1)、職別工事業(4)

	完成工事額		採算		資金繰り		業況	
7年 1月～ 3月期		▲14.3		0.0		0.0		▲14.3
7年 4月～ 6月期		14.3		28.6		▲14.3		▲28.6
7年 7月～ 9月期		42.9		28.6		14.3		28.6
7年 10月～ 12月期		14.3		0.0		0.0		14.3
8年 1月～ 3月期		28.6		▲14.3		▲28.6		▲14.3
来期見通し(4～ 6月期)		▲14.3		▲28.6		▲42.9		▲14.3

#### <調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・ 求人を出しても応募がなく、特に技術を持った人材が集まらず困っている。
- ・ 他分野への参入で今期は黒字化できたが、来年度以降は不透明な状況で予測が難しい。

#### <経営上の問題点>

- ・ 従業員の確保が困難と考える企業が多く、特に熟練技術者の確保が難しくなっている。
- ・ 官民間わず発注数と規模自体の縮小。

## 【小売業】 有効回答数 8企業

調査対象企業内訳：飲食料品(3)、衣服(1)、各種商品(2)、その他(2)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
7年 1月～ 3月期		▲37.5		▲25.0		▲75.0		▲75.0
7年 4月～ 6月期		▲50.0		0.0		▲37.5		▲50.0
7年 7月～ 9月期		▲25.0		▲12.5		▲50.0		▲37.5
7年 10月～ 12月期		▲62.5		▲12.5		▲50.0		▲37.5
8年 1月～ 3月期		▲37.5		▲12.5		▲75.0		▲50.0
来期見通し(4～ 6月期)		▲37.5		12.5		▲62.5		▲50.0

### <調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・コスト上昇や消費の伸び悩みもあり、経営環境は依然として厳しい。
- ・物価高騰への対応にも限界があり、対応に苦慮している。

### <経営上の問題点>

- ・消費者のニーズへの対応が難しく、需要の停滞を招いている。
- ・仕入単価の上昇を吸収できていない。

## 【サービス業】 有効回答数 8企業

調査対象企業内訳：洗濯業(2)、理美容業(3)、飲食店(2)、その他(1)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
7年 1月～ 3月期		▲12.5		▲25.0		▲50.0		▲12.5
7年 4月～ 6月期		12.5		▲12.5		0.0		0.0
7年 7月～ 9月期		0.0		▲50.0		0.0		▲12.5
7年 10月～ 12月期		▲12.5		▲25.0		▲12.5		▲12.5
8年 1月～ 3月期		37.5		0.0		▲25.0		25.0
来期見通し(4～ 6月期)		12.5		▲12.5		▲50.0		▲25.0

### <調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・食料品減税が現実味を帯びており、商品展開の充実を検討。
- ・我慢の時とは思うが、体力勝負になってきている。
- ・値上げを抑えているが、様々なものの金額上昇に四苦八苦しながらの経営である。

### <経営上の問題点>

- ・物価上昇や人材確保難に問題を抱えてる企業が多い。
- ・企業努力により短期的な業況の回復はあったものの、先行きは不透明と危惧している企業も多い。

鹿児島県金融経済概況

前回からの変化（注）

総括判断	鹿児島県の景気は、一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している	→
------	------------------------------------	---

【項目別の推移】

前回からの変化（注）

個人消費	底堅く推移している	→
観光	回復が一服している	→
公共投資	高水準で推移している	→
住宅投資	弱めの動きとなっている	→
生産	弱めの動きとなっている	→
設備投資	増加している	→
雇用・所得環境	緩やかに改善している	→
物価	前年を上回って推移している	

（注）「↑」は判断引き上げ、「→」は据え置き、「↓」は判断引き下げを示す。

【金融面の動向】

預金	前年を上回った
貸出金	前年を上回った
貸出約定平均金利	前年を上回った
企業倒産件数	前年を下回った

以 上